

高齢者医薬品適正使用の指針(詳細編) のコンセプトについて

資料2-2

- 総論編指針の追補として、患者の療養環境別(外来・在宅、療養・介護医療)及び慢性期の療養環境の特徴を踏まえた薬剤の追加の留意点。各10頁程度の各論編を作成するイメージ、合計20頁程度

指針総論編

服薬の全体像
処方情報の一元化
CGA 処方の優先順位付け
薬剤起因性老年症候群
減薬・変更の留意点
投与量・併用の管理
見直しのタイミングと療養環境移行
服薬支援
多職種連携

追補1 外来・在宅医療の処方

外来、在宅医療での見直しのタイミング
外来、在宅医療での処方見直しの留意点
地域内多職種チームの形成
入退院からの引き継ぎ

追補2 療養・介護医療での処方

入院・入所時の見直しのタイミング
療養・介護医療における処方見直しの留意点
療養・介護医療からみた多職種チームの形成

別添 薬剤の留意点の追加

各主要慢性患者の処方薬に追加の留意事項があれば作成(例えば)
認知症、骨粗鬆症、呼吸器(COPD)、がん・緩和医療 など。